



ASAHI TEC

補足資料

- 2011年12月28日発表内容（ポイント）
- 今までとこれから
- 本取引の概要

- ユニゾン・キャピタル・グループ(UC)に属する投資ファンドがその発行済株式の全てを保有している ATCH1及びATCH2(*1)は、公開買付け(TOB)等により旭テック発行の全株式を取得し、旭テックをUCの100%傘下とする予定(本件計画)です。
- 旭テックはUCによる本件計画の一環として行われる第1回TOBに賛同の意見を表明します。なお、第1回TOBにおける買付価格については意見を留保しますが、第2回TOBが行われた場合には、第2回TOBに賛同し、当社株主に対して第2回TOBに応募することを推奨すべき旨、及び、その後の普通株式の全部取得の手段を実施することも相当である旨の意見を表明すべきだと考えております。

➤ UCによる本件計画のポイント

優先株 の取得

- TOBに先立ち、ATCH1がA種優先株式、B種優先株式について発行済の全てを取得 (RHJIと東京海上から)

普通株 の取得

- ATCH2が2回のTOBにより全ての発行済普通株式の取得を目指す
- 1回目はRHJIと東京海上の所有している普通株式の取得を目的として、27円/株で実施
- 2回目は残る全ての普通株式の取得を目的として、プレミアムを乗せた33円/株で実施

普通株 全部取得

- ※ 旭テックの普通株式は2回目のTOBもしくは普通株式の全部取得の決議を経て上場廃止へ
- 2回のTOBで取得出来なかった残りの普通株式の全てを取得する予定(株主総会にて決議)

*1 ATCH1=ATCホールディングス1号株式会社、ATCH2= ATCホールディングス2号株式会社

旭テックグループの業績と本件投資の位置づけ

- 先日12月19日に業績予想の上方修正をおこないましたが、旭テックグループの今年度業績は好調に推移しております。

2011年度連結ベース 通期業績予想(12月19日発表) (百万円)

	前回予想(8/10)	今回予想(12/19)	増加(%)
売上高	77,000	80,000	↑ 4%
営業利益	2,350	3,300	↑ 40%
経常利益	2,000	2,700	↑ 35%
当期純利益	1,500	1,900	↑ 27%

- この状況に端的に表れているように、旭テックグループは危機から脱したものと確認しており、この先さらに「成長」戦略に焦点をあてた積極的な事業計画を推進していきたいと考えております。
- UCは、経営陣が現在推進している事業計画に則した事業成長の支援を行い、旭テックグループの企業価値を向上させることが可能であるとの認識を有しているとのことです。

今までと、これから...

- ◆ リーマンショック
- ◆ 米国メタルダイソンの破綻
- ◆ 東日本大震災
- ◆ タイの大洪水...

- 旭テックグループは、これまでの厳しい試練を不断の努力で乗り越え、危機を脱してきました。現在、「生き残り」から「成長」に経営の舵をきる局面にあります。

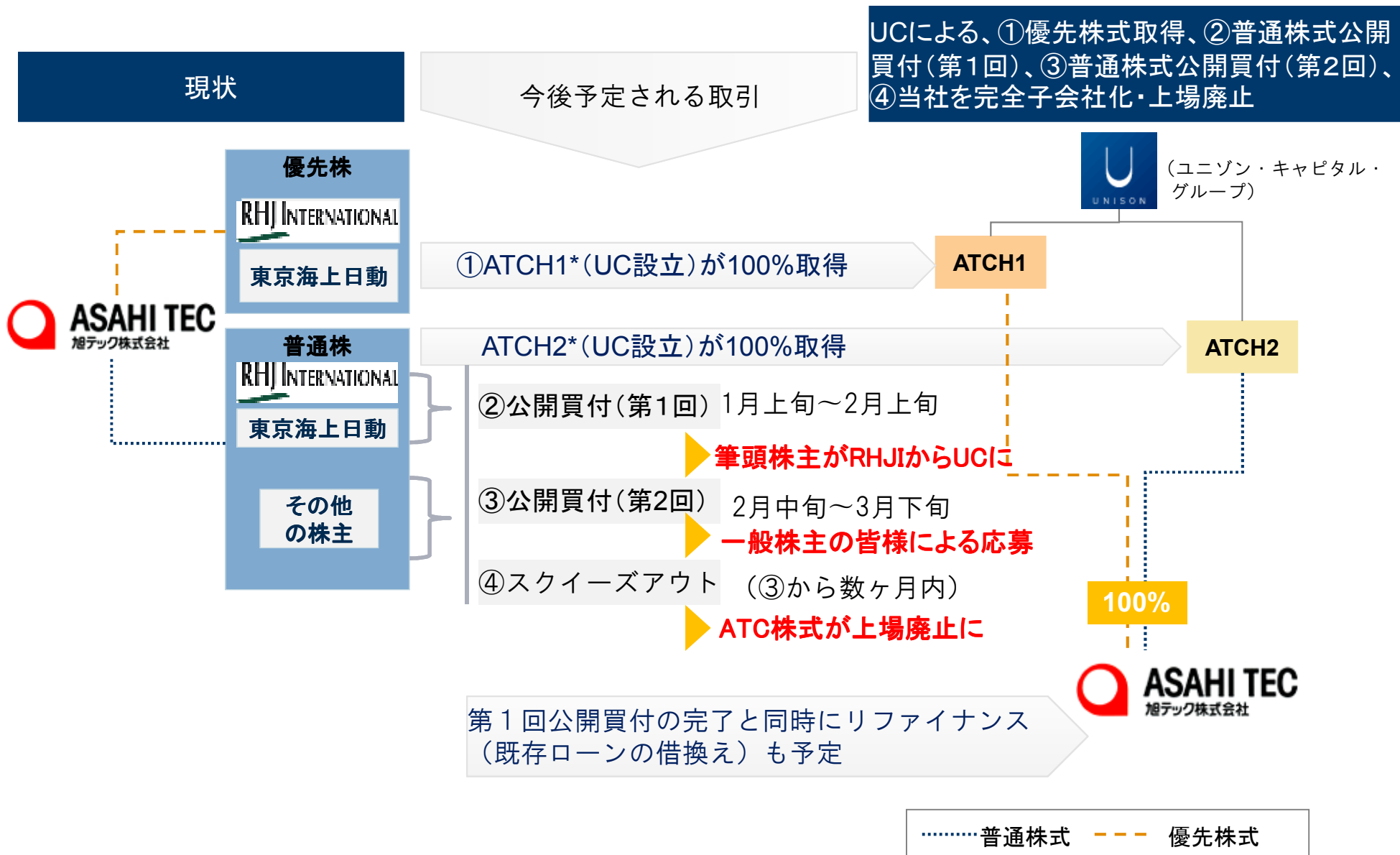
「生き残り」→「成長」へ

- そんな中、UCからの提案は、旭テックグループが考える成長戦略に合致するものでした。
 - UCは、経営陣が現在推進している事業計画に則した事業成長の支援を行い、旭テックグループの企業価値を向上させることが可能であるとの認識を有しているとのこと。
- 今後はUCと協議しながら、必要な成長に必要な資金の確保ができると考えています。

完全子会社化 → 非上場化

- 変化に対応しながら、「成長」の為に様々な手を打つには、今まで以上に迅速かつ柔軟な意思決定が必要です。
- UCによるノウハウの提供や、広範なネットワークを活用した人材面でのサポート等を期待しています。

本取引の概要



* UCが設立するATCホールディングス1号株式会社(ATCH1)、ATCホールディングス2号株式会社(ATCH2)。株主は共通。

注: 上記は公開買付者より受領した情報に基づきます。また、上記①～④のうち、④は公開買付者から要請を受けて当社が実施する取引です。